

事前防災地区整備プロジェクト おっぱら 越原地区

(東白川村 越原 洞山)



1. 現状と課題

度重なる豪雨によって溪流が侵食され、発生した土砂が溪流内に堆積しており、今後の豪雨で流出するおそれがあります。

周辺の森林は密度が高く、幹が細いため台風等による風の影響で倒木が発生し流木災害のおそれがあります。また、森林整備の遅れにより、樹木の成長や下層植生の減退が生じており、森林の公益的機能の確保のためにも森林の管理が必要です。

2. 対策

溪流に堆積している土砂の流出を防止するため、2基の谷止工を施工しました。また、森林の管理を行うため、治山施設の管理を兼ねた道路を設置しました。今後は、風や雪に強い森林を育てるための間伐を実施する計画です。

間伐箇所は、防災力の強化につながるか、伐採した樹木が流下して下方に被害を与えない箇所かを十分検討のうえ、事業を計画しました。